

2004年8月期第3四半期の決算を発表

単体業績

	04/8期					
	3 Q 実績	(前年比)	1Q~3Q 実績	(前年比)	通期予想 (修正後)	(前年比)
売上高 (売上比)	859 100.0%	(+12.8%)	2,666 100.0%	(+12.0%)	3,340 100.0%	(+10.7%)
売上総利益 (売上比)	431 50.2%	(+21.7%) (+3.6p)	1,289 48.4%	(+22.3%) (+4.1p)	1,580 47.3%	(+17.2%) (+2.6p)
販管費 (売上比)	246 28.7%	(+7.2%) (-1.5p)	708 26.6%	(+5.9%) (-1.5p)	953 28.5%	(+8.0%) (-0.8p)
営業利益 (売上比)	184 21.5%	(+48.4%) (+5.1p)	581 21.8%	(+50.8%) (+5.6p)	627 18.8%	(+34.9%) (+3.4p)
経常利益 (売上比)	186 21.7%	(+42.5%) (+4.5p)	583 21.9%	(+47.8%) (+5.3p)	630 18.9%	(+34.1%) (+3.3p)
当期利益 (売上比)	105 12.2%	(+41.1%) (+2.4p)	318 11.9%	(+69.7%) (+4.0p)	330 9.9%	(+76.7%) (+3.7p)

【サマリー】第3四半期は増収、大幅増益を記録。通期業績予想は上方修正

2004年8月期第3四半期累計(2003年9月~2004年5月までの9ヶ月間累計)の単体業績は、売上高2,666億円(前年同期比12.0%増)、経常利益583億円(同47.8%増)、当期利益318億円(同69.7%増)となり、増収、大幅増益を達成することができました。(いずれも2003年8月期第3四半期実績は社内管理用数値を使用。以下、同じ)。なお、第3四半期単独(2004年3月~5月の3ヶ月間)の実績では、商品力の強化やキャンペーンの成功を背景に売上高が計画を上回ったことに加え、売価変更率の低減により粗利益率が計画比約2ポイント改善した結果、経常利益で前年同期比42.5%増と計画以上の高い伸び率を記録できました。売上高や利益が計画を上回ったことから、通期(2004年8月期)の業績予想について若干の上方修正を行いました。修正後の単体ベースの業績予想は、売上高が3,340億円(従来予想は3,300億円)、経常利益が630億円(従来予想は600億円)となっております。

第3四半期の連結子会社業績は、英国子会社では黒字基調が続き、中国子会社の赤字幅も縮小傾向にあるなど総じて計画通りとなりました。順調な業績を背景に、連結業績予想についても単体ベースと同様の上方修正を行いました。

【単体業績結果】計画を上回る売上・利益を達成

第3四半期単独(2004年3月~5月の3ヶ月間)の売上高は前年同期比12.8%増となりましたが、これは、既存店売上高が同4.3%増と前年を上回り、店舗数も計画通りの17店舗の純増(出店31店舗、閉店14店舗、2004年5月末の直営店舗数は624店舗)となったことによります。3月26日から消費税総額表示への移行を実施し、それに伴い商品価格の実質的な引下げを実施しましたが、「価格の見やすさ」によるプラス面もみられるなど、結果的として業績に大きな影響を与えることはありませんでした。

第3四半期の3ヶ月間でみた既存店売上高は、前年同期比4.3%増となりました。同期間の既存店客単価は前年同期比0.8%減とほぼ前年横ばいと安定した水準をキープする一方で、キャンペーン成功などを背景に既存店客数は前年同期比5.2%増となりました。

3月から5月の3ヶ月間の商売を振り返ると以下の通りです。まず、3月は美脚ストレッチパンツのキャンペーンを実施、ウィメンズのストレッチブーツカットパンツなどの販売が好調でした。4

月～5月はプリントTシャツに焦点をあて、デザインや柄の種類を昨年の600から1000に増やしバリエーションを充実させた結果、キャンペーンは成功を収めることが出来ました。また、5月～6月には夏もののロングパンツを対象としたサマーボトムスキャンペーンを実施、メンズのドライツータックパンツなどこれまでにない需要を取り込むことができました。

粗利益率につきましては、第3四半期の好調な売上に支えられ、売価変更率が大幅に改善したことから50.2%と極めて高い水準を確保することができました。計画に対しても2ポイント程上回る水準を達成することができました。

これらに加えて、第3四半期の販管費がほぼ計画通りとなったことから、経常利益は186億円(前年同期比48.4%増)と計画を上回る水準となりました。

【連結業績結果】ほぼ計画通りに進捗

主な連結子会社の第3四半期累計業績については以下の通りです。まず、通期での黒字達成を目指す英国子会社は、当期損益で5000万円の黒字を確保しました。次に、中国子会社は当期損益で9000万円の赤字となっていますが、その赤字幅は縮小傾向にあり、来期の黒字化を狙って収益性の改善に取り組んでいます。また、新規に連結対象子会社となったナショナルスタンダードは4000万円の赤字となっております。食品子会社については7.1億円の当期赤字となっていますが、5月にはすでに営業を終了し、現在は会社清算に向け準備を進めています。また、新たに関連会社となったリンク・ホールディングスについては、この第3四半期に連結PL上の営業外収益として「持分法による投資収益」3億円を計上しております。

【業績予想】連結、単体とも、従来の業績予想を上方修正

上記のような計画を上回る好調な業績結果を受け、2004年8月期通期の業績予想を単体、連結ともに上方修正いたしました。まず、単体ベースの業績予想は、売上高を従来予想の3,300億円(前期比9.4%増)から3,340億円(同10.7%増)へ、経常利益を600億円(同27.7%増)から630億円(同34.1%増)へ、そして当期利益を320億円(同71.4%増)から330億円(同76.7%増)へとそれぞれ修正いたしました。また、連結ベースの業績予想は、売上高を従来予想の3,342億円(同7.9%増)から3,382億円(同9.2%増)へ、経常利益を596億円(同43.4%増)から626億円(同50.6%増)へ、当期利益を280億円(同33.8%増)から295億円(同40.9%増)へとそれぞれ修正いたしました。

(注) IR情報 (<http://www.fastretailing.co.jp/ir/index.html>) に決算データなどを開示しております。詳細についてはこちらをご確認ください。